



コウモリ

クアノ

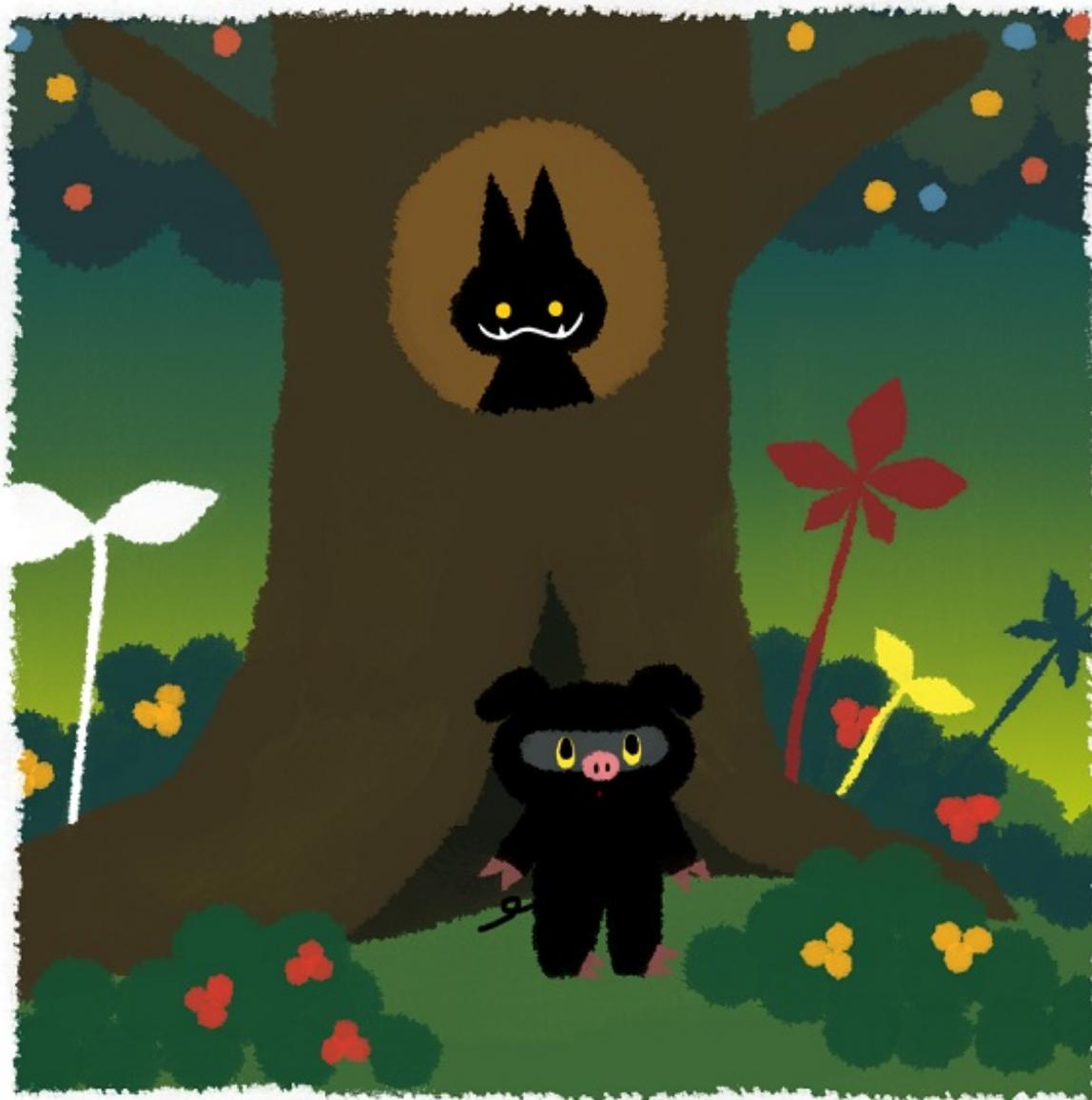
と

クロブタ

ダビー

RINA.F
April 2011

さく・え
RINA.F



とある もりの
おおきな おおきな木の中に
コウモリのクアノと
クロブタのダビーが、すんでいます



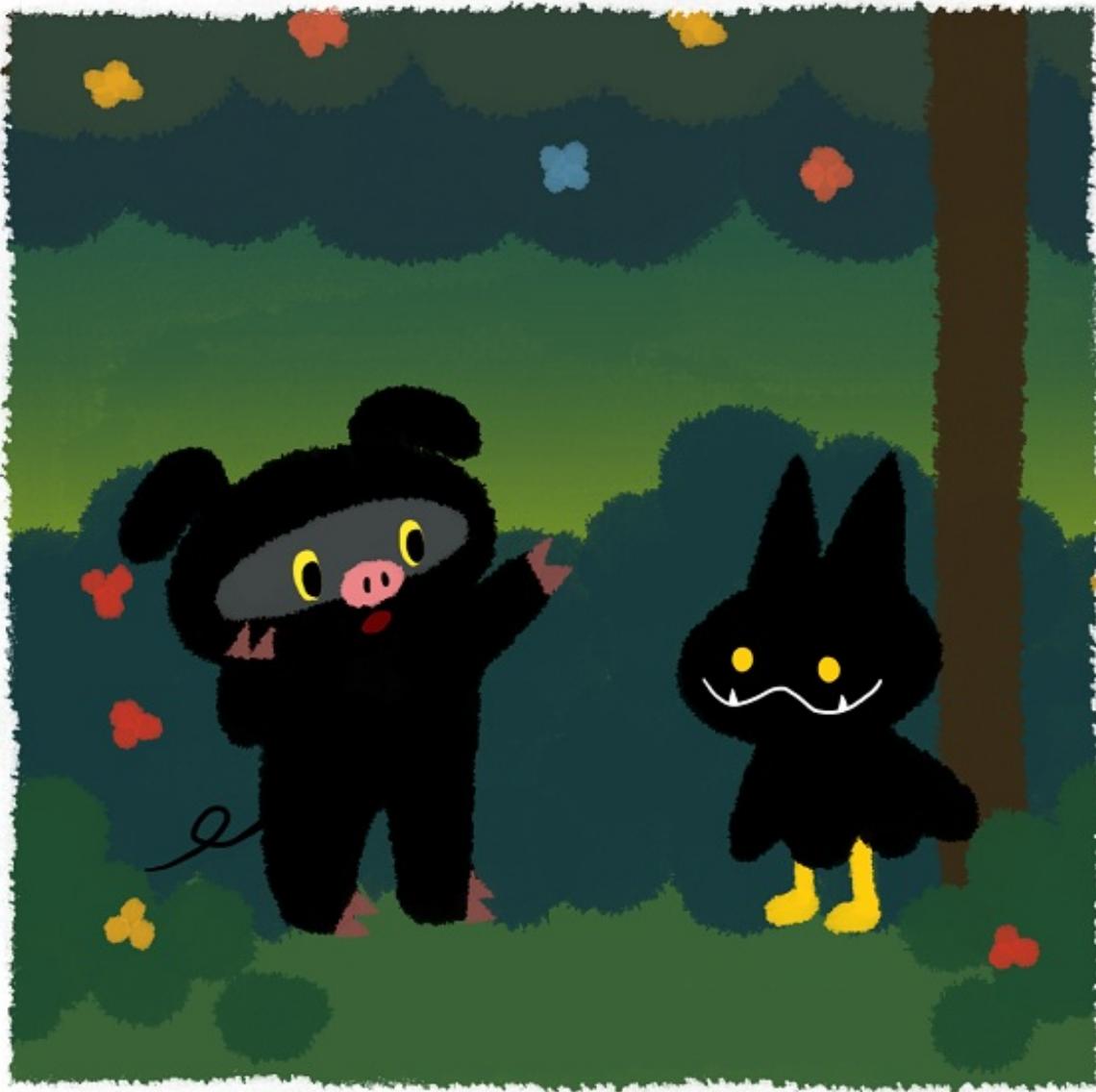
ダビーはいつも
おおきな おおきな木のいえの
ねっこの中で、ねてばかり



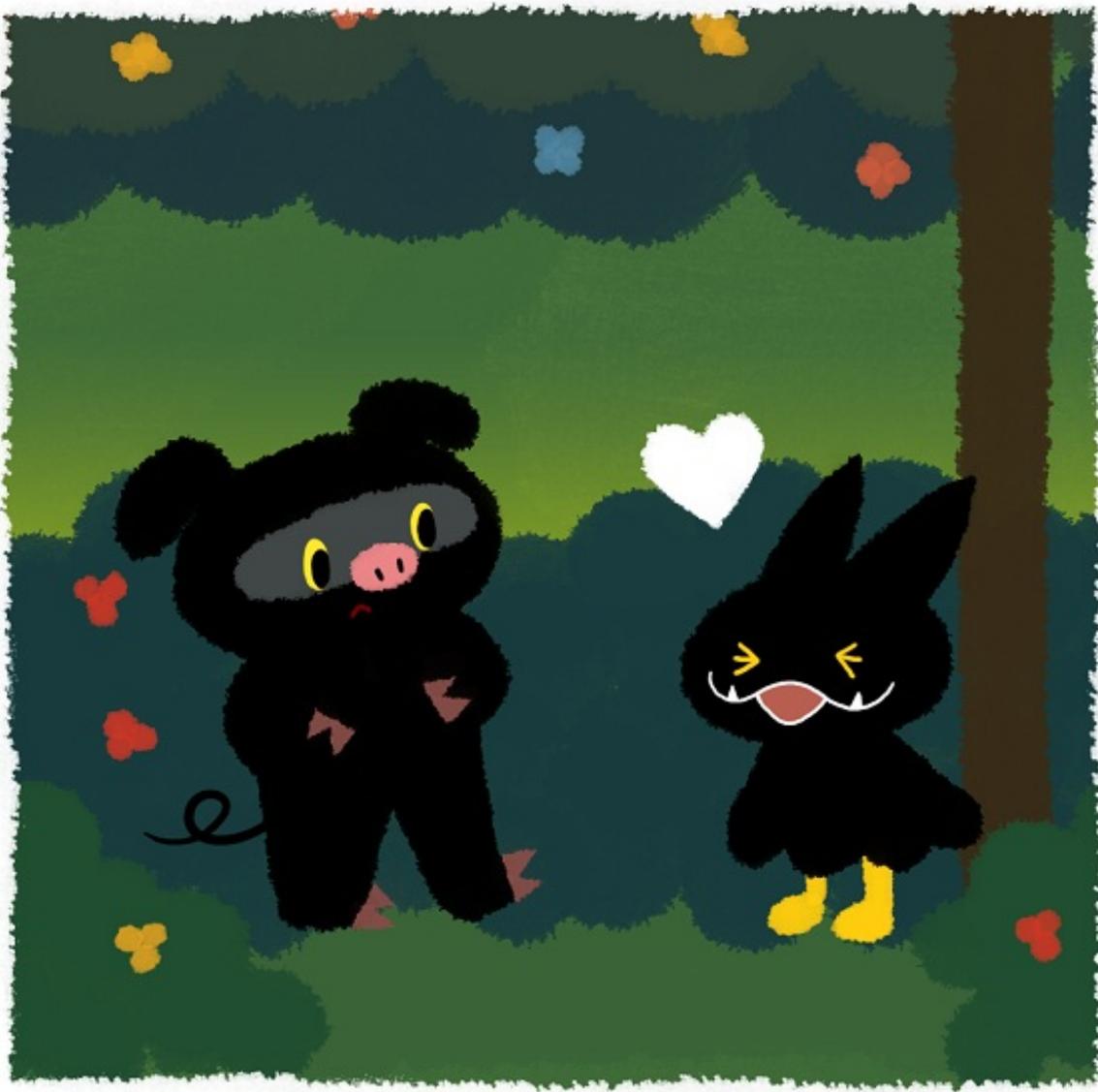
クアノはいつもげんきよく
「いってきます！」
とダビーにいうと



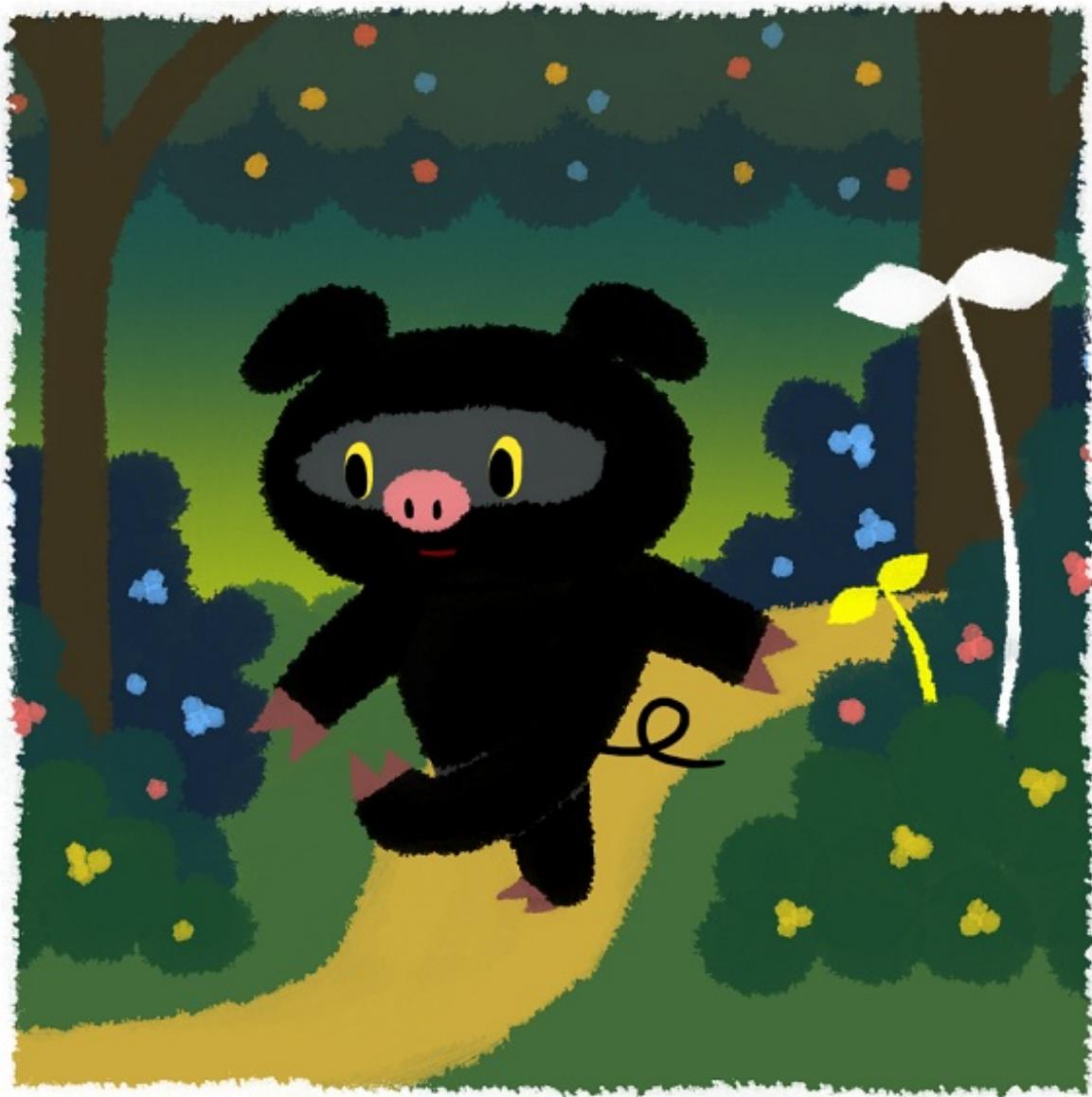
いつもどこかにとんでいき
にこにこ、えがおでかえってきます



ある日、ダビーがいました
「きみはいつも、なにをしているんだい」
クアノはこうこたえました
「こまっているひとを、たすけているのさ」



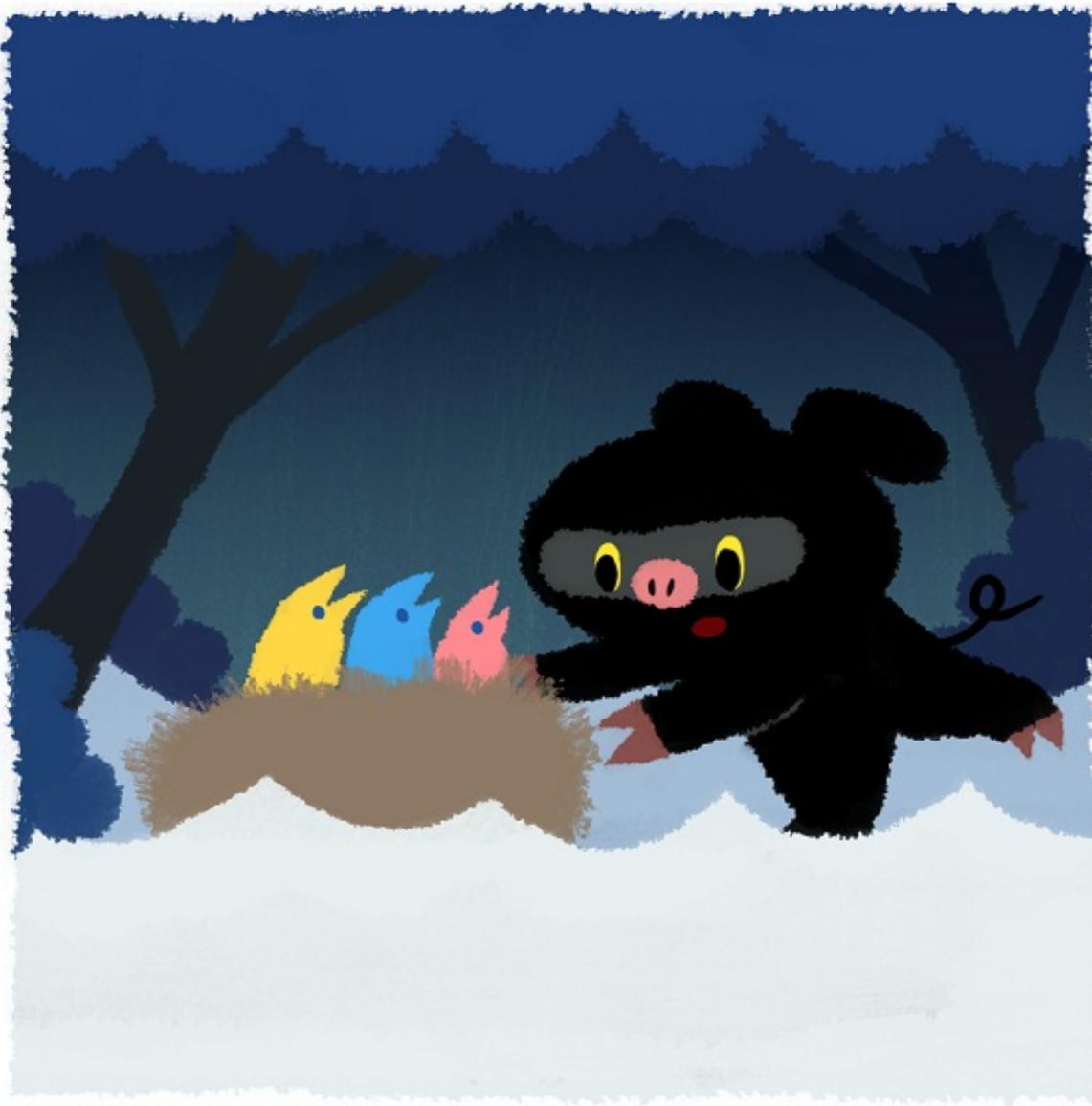
「そんなことして、たのしいのかい」
ダビーがそう言うと、クアノは
「ぼくは、目に見えないものを
たくさん、もらってるんだ
きみも やってみたら、わかるはずさ」



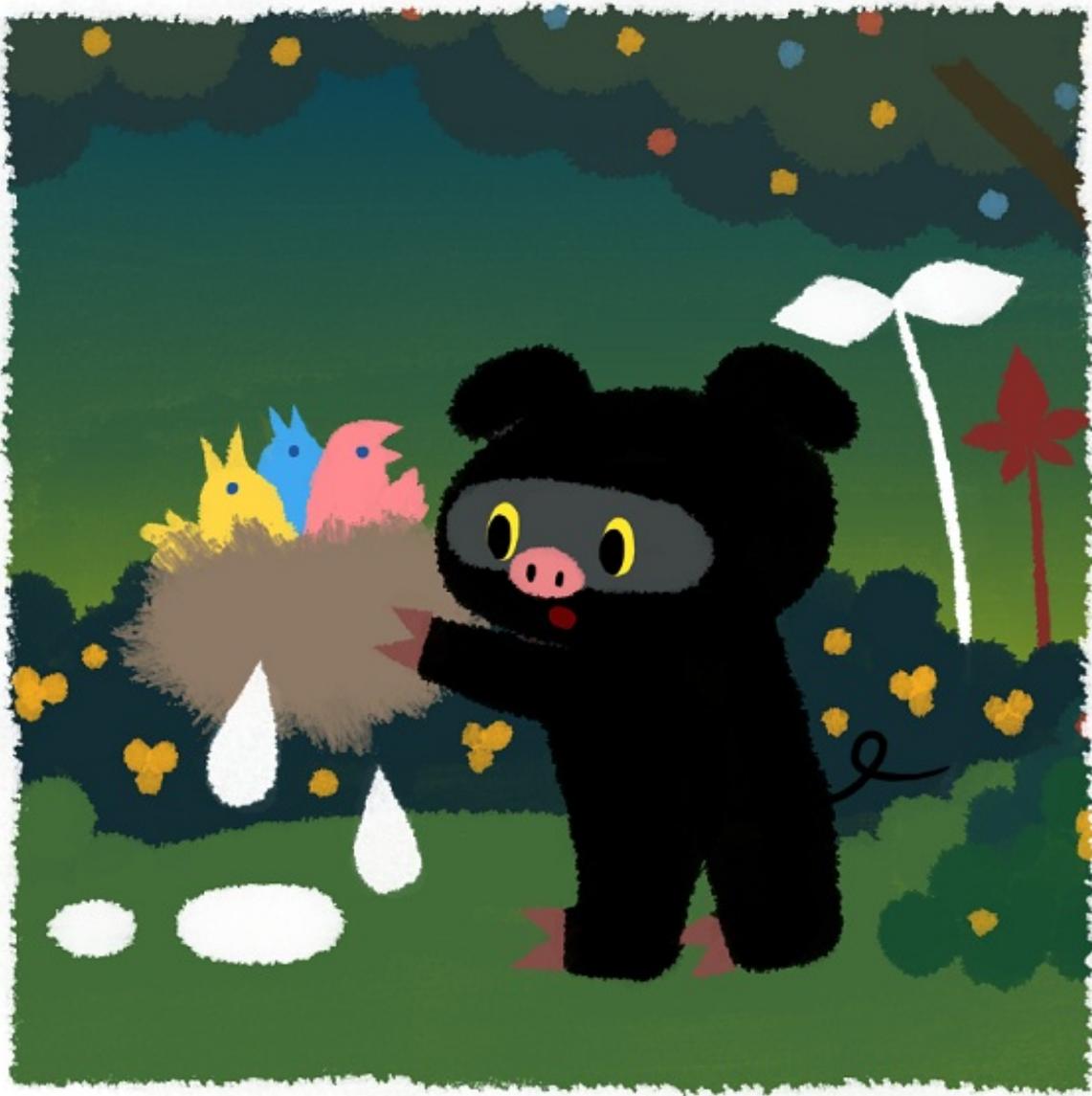
ダビーは、もりの中をあるきながら
クアノがもらっているものをかんがえていました
「そんなに、いいものなのかなあ」



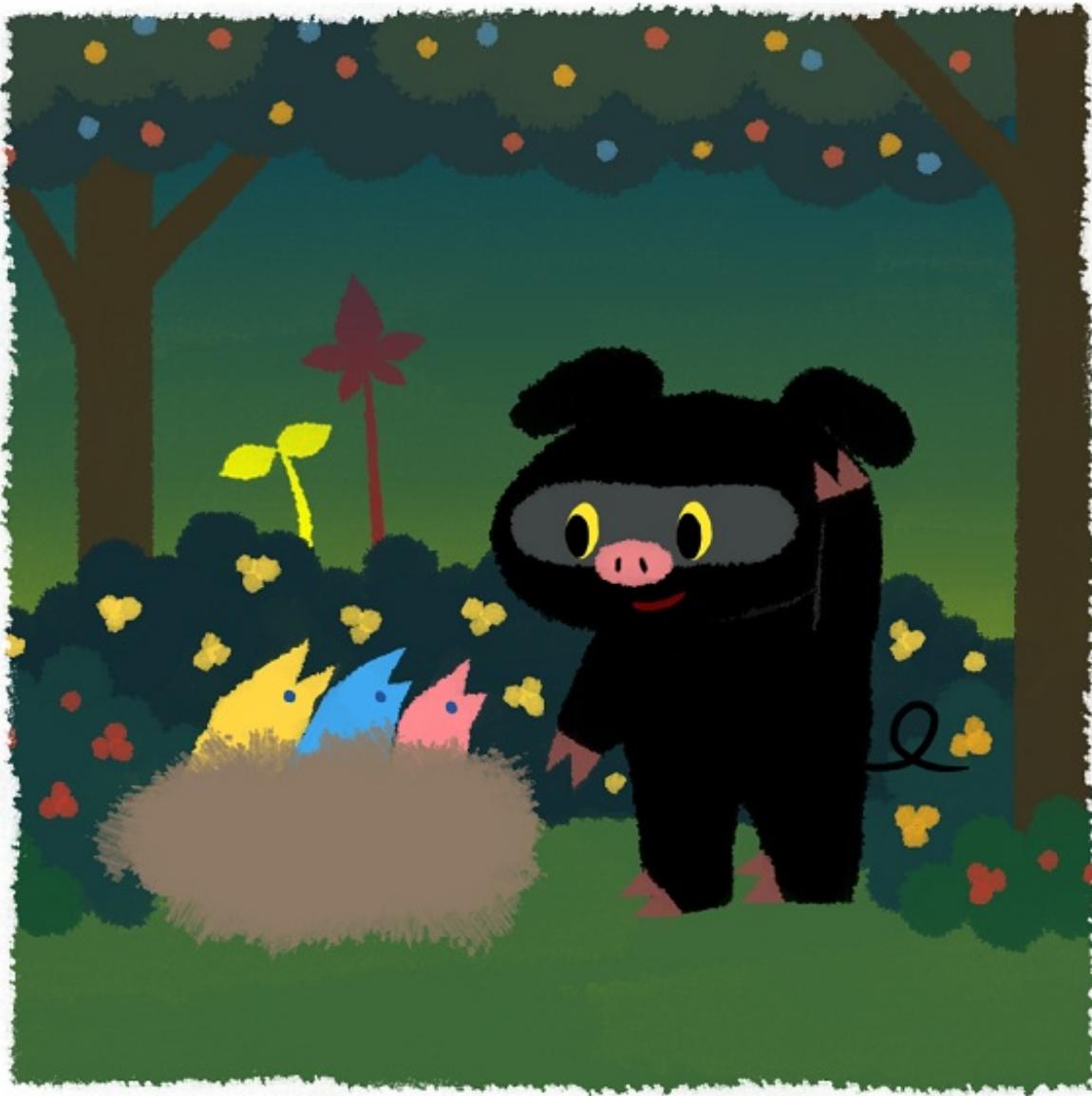
しばらくあるいていると
みずうみの中に、とりのすが
おちているを見つけました
「たいへんだ！たすけなきゃ」



ダビーはそういと
とっさに、みずうみにとびこみ



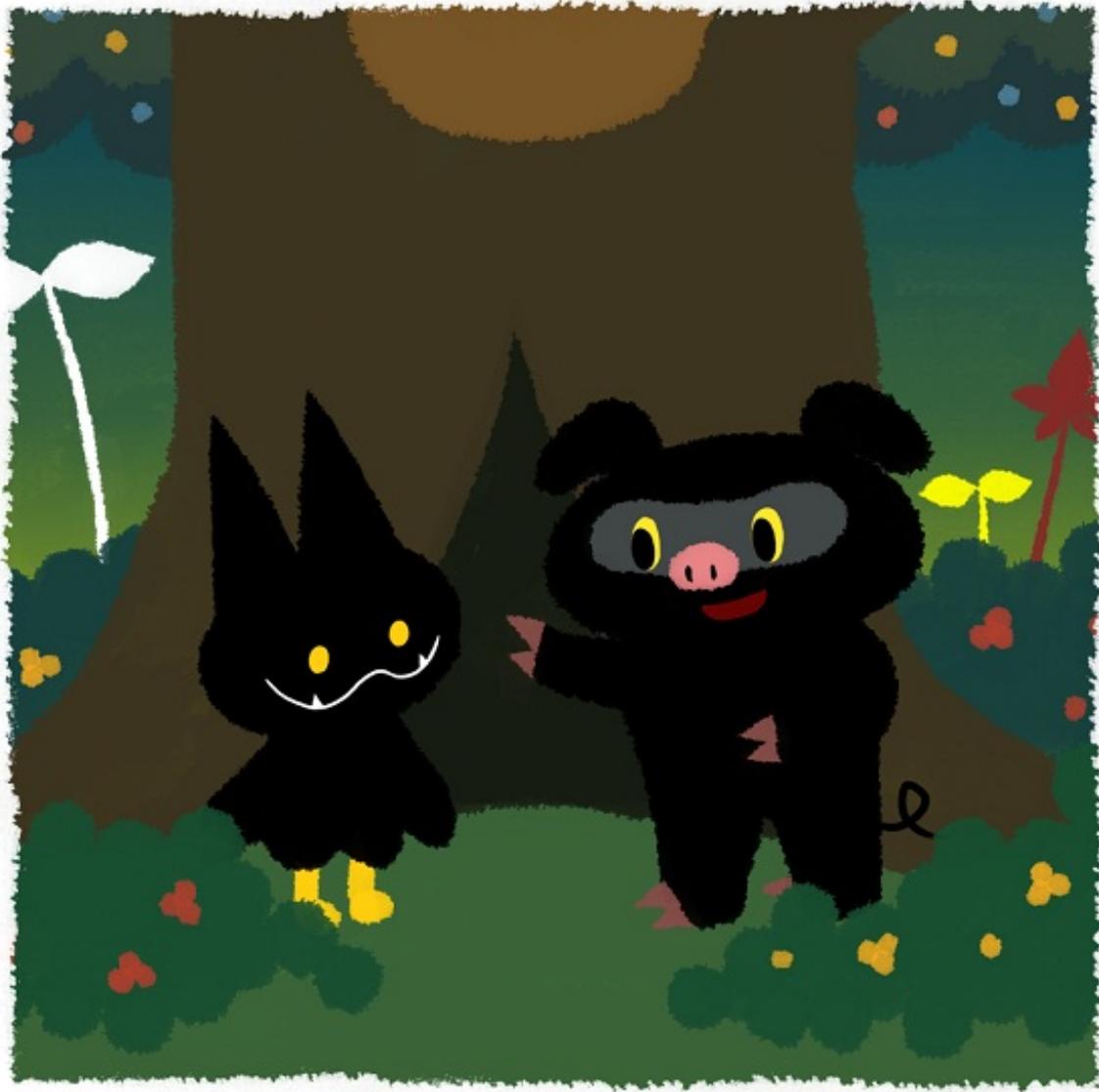
ひょいと、とりのすをもちあげて
ひなどりたちを、たすけてあげました



すると、ひなどりたちは
こえをそろえて
「ありがとう、ありがとう」
ダビーになんども おれいをいいました



ダビーはなんだか、むねのあたりが
ほっこりするのをかんじました
「クアノは、これをもらっていたんだね
なるほど、とてもいいきぶんだ」



いきぶんのままおうちにかえり
「ひとだすけって、こんなにいいものだったんだね」
クァノにそう、いいました



クァノもなんだか、むねのあたりが
ほっこりするのをかんじました



それからダビーは、クァノとともに
やりたいことができました
「ふたりでいっしょにこのもりを
ほっこりほっこりさせるのさ」

